

15. 長岡京市の歴史文化調査

京都府立大学文学部地理学研究室

1. 概要

長岡京市が策定を目指している文化財保存活用地域計画の事業の一環として、長岡京市文化財保存活用地域計画作成のためのワークショップを実施した。地理学研究室および建築史学研究室の3・4回生がこのワークショップに参加し、長岡京市内のフィールドワーク調査をおこない、成果を報告した。

参加者：荒井元希・石橋茉莉（以上、4回生）、青柳隆慈・永久陽菜・川西優帆・幸川玲・高橋日向・前田愛佳・松岡茉陽琉（以上、3回生）、上杉和央（教員）

2. 成果

学生は3つの班に分かれ、それぞれ個別に数回のフィールドワークを実施するなかで、長岡京らしさとはどのようなところにあるかを議論していった。途中、数回の学内報告会を実施し、歴史文化の作り方について相互に意見を出し合う中で、焦点を絞りながら、長岡京らしさを磨いていった。

市民向け報告会を兼ねたワークショップが2021年7月31日に実施され、各班ともに成果をポスターおよびパワーポイントを用いて報告した（図1・2を参照）。その後、集まった市民と「内側から見た長岡京市」と「外側から見た長岡京市」の異同について、意見交換をおこなった。意見交換のなかで出た意見については、長岡京市が記録をし、文化財保存活用地域計画の策定に活かしていくことになった。

なお、当日の様子は京都新聞8月2日（洛西版）にて紹介された。



図1 ワークショップの様子
(2021年7月31日)

長岡京 水の歴史文化


京都府立大学文学部歴史学科
荒井元希・石橋茉莉・高橋日向

歴史文化の設定

長岡京は小畑川や小泉川といった河川や豊富な地下水を活かして様々な営みが行われてきたが、地域によっては干ばつや水不足に悩まされたこともあった。水陸交通の要衝であるこの地に建設された長岡京は、水の両側面に翻弄され遷都したが、それ以降も人々は二面性を持つ水と向き合いながら生活を続けており、その痕跡は現在も歴史文化として残されている。

→水と向き合ってきた人々の営みを想起できるような保存活用につなげたい

関連文化財群①
水を求め集う




乙訓寺




楊谷寺

- ・明星水跡
- ・馬の池
- ・勝龍寺
- ・角百神社

関連文化財群②
水を使う



八条ヶ池




馬の池

- ・長岡京時代の酒造工場跡
- ・今井用水
- ・今里区有文書
- ・久左衛門供養塔

関連文化財群③
水と共生する



神足穴運橋



一文橋

- ・今井用水
- ・今里区有文書
- ・久左衛門供養塔

活用案：長岡京の水を使ったかき水イベント

馬の池の水、ガラシャおまかげの水、池詰水などを使用
シロップもお茶やトマト、竹など、長岡京市の生産に関わるものを使う
場所は調子馬の池公園や勝龍寺公園など

1 班の提案

はじまりの歴史文化

京都府立大学文学部歴史学科
青柳隆慈・永久陽菜・川西優帆

歴史文化設定の背景 一長岡京らしさを示せる、長岡京らしい文化財保護・活用を
いまの長岡京市が持った：人々の生活するまち（ベッドタウン）、ここで生きる人を大切にすまほし（かじこ暮らし）
…文化財もこのまちに生きるとによりそったまちでの保存・活用につなげたい…
生活の一日くり返し、朝/昼/夜から暮れ、長岡京の文化財を語るにふさわしい各時間帯のイメージを描出
→《はじまりにそれぞれの》の歴史文化設定

関連文化財群①
長岡のあげげの



長岡山古墳跡



神足神社



神足新七郎

ほか
志田9号墓 ● 酒造工場跡
中山第一記念館

関連文化財群②
光さす浄土の地



光明寺



長法寺



聖山観音寺

ほか
大正山観音寺 ● 浄土寺
浄土山観音寺

関連文化財群③
角ぐむ竹文化



観音院



竹工芸品



竹林

ほか
東宮殿下台場地誌念碑

他の歴史文化と関連文化財について

にまわりの歴史文化：交通の要所（西園街道・丹波街道と御道沿いの町並みなど）、頼朝家墓道の地（勝龍寺城公園など）
やすらぎの歴史文化：僧人の安寧の地（乙訓寺 ●、長岡天満宮など）、記憶の継承（甲賀記念館、観音院など）

〇活用案

イメージのもととなった時期等に文化財群を巡ることで、長岡京の歴史文化の特長とストーリー、それぞれの文化財の歴史をより効果的に伝えることができる。各時期別の文化財群を繋いで、一日回りが可能な観光コースも作成が可能。
はじまりにまわりのやすらぎを巡る、という円環/循環的な考え方を歴史文化の理解の一助とすることができる。

国指定・登録文化財 ● 府指定・登録文化財 ○ 市指定・登録文化財 ●

2 班の提案

ものづくりの歴史文化


京都府立大学文学部歴史学科
青柳隆慈・永久陽菜・川西優帆

歴史文化

自然に恵まれた長岡京市では先史時代から人々の生活が営まれ、農業や工業といったものづくりが人々の生活を支えてきた。人々は耕作具を磨らしながら、時代を超えてものづくりを行い続け、現在もなお、多くの水田や工場が存在していることは長岡京市を「ものづくりのまち」として特徴づけている。

関連文化財群①
豊かな水と縁に恵まれたみやこ


一稲作や米、産物産物といった農業にかかわるものづくり
・富貴遺跡 ● 水田遺跡 ● ため池群
・今井用水の争論関係文書
・志田神社 ● 魚屋神社 ● 魚屋遺跡
・乙訓遺跡



志田神社

関連文化財群②
再生と創造を繰り返すみやこ


一石器や瓦、酒造生産といった工業にかかわるものづくり
・神足遺跡/観音院 ● 乙訓寺高麗1号埴/埴塀
・伊賀寺遺跡 ● 調子の酒造工場跡
・御向遺跡



須磨器大甕


関連文化財群③
竹の葉のささやきが聞こえるみやこ

一竹筒やタケノコ、竹細工といった竹にかかわるものづくり
・観音院の竹林 ● 京都式乾化焼成法 ● 竹細工



観音院の竹林

主要文化財マップ



活用提案

- ・遺跡や出土品のより積極的な情報提供の実施
- ・ものづくりの体験プログラム・特産物作りを主とした教育の充実

図2 学生の提案した
長岡京の歴史文化

班員

- 1 班：荒井元希、石橋茉莉、高橋日向
- 2 班：青柳隆慈、永久陽菜、川西優帆
- 3 班：幸川玲、前田愛佳、松岡菜陽琉

3 班の提案